

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/ 松田 和秀  
編集者/ 教育・広報部

## 申第3号「2017年3月ダイヤ改正検証」に関する申し入れ、提出!

2017年3月ダイヤ改正について、提案から実施までの準備期間が短い中実施されたダイヤ改正でありました。我々働く側として「安全・安定輸送の確保」「お客さまの利便性向上」を通じたお客さま満足の向上に取り組むためには、労使の議論無くしてはなりえないと考えます。

近年、運車職場の要員不足を労使で議論してきましたが、未だに解決がなされていません。東京オリンピックで使用する「新国立競技場」建設に伴う過労死事故を例に出すまでもありませんが、余裕のない要員運用では「究極の安全」を創り出すことは難しいと考えます。

より安全で働きやすい職場を創り出すために私たち労使が真摯に向き合い議論し、両輪となって進めていかなければいけない課題です。

そのような視点で2017年3月ダイヤ改正を検証した結果、多くの問題点が組合員から寄せられました。この間の議論から、未解決の問題点も含め、鶴見線営業所・矢向車掌区・中原電車区・相模原運輸区・横浜運輸区の要求にまとめ、下記の通り申し入れを行いました。

### 【共通項目】

- 1、運用行路表（他支社関係を含む）、運行図表、交番順序表、準備時間一覧表をプレス発表前までに提示すること。
- 2、標準数については、各種委員会、各種訓練、各種研修、各種セミナー、育児休職、介護休職、静養休暇等加味して算出し、要員を確保すること。
- 3、食事を取り得る時間として実質朝30分以上・昼夕40分以上を確保すること。
- 4、睡眠を取り得る時間として、実質4時間30分以上確保すること。
- 5、各線沿線（駅・車両センター構内を含む）の樹木の伐採と除草の年間計画を明らかにし、最低年間4回は行うこと。また、異常時のリスク管理を鑑みて安全通路の除草等により、安全に使用できる状態を保つこと。
- 6、停止位置を行き過ぎた場合の取り扱いを改善すること。

**職場からの声を基に改善していこう!**

**各区所の項目については、業務連絡6号を参照してください。**